

1 単元名 ボール運動～ゴール型（フラッグフットボール）～

2 目標

- 簡易化されたゲームで、ボール操作やボールを持たないときの動きによって攻防をすることができるようにする。 (技能)
- 運動に進んで取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、場や用具の安全に気をつけたることができるようにする。 (態度)
- ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりすることができるようにする。 (思考・判断)

3 単元の指導について

(1) 教材観

フラッグフットボールは、アメリカンフットボールから派生したゲームで、ボールを持って走ることができるため、ボール操作が容易であり、戦術的な学習課題に重点を置くことが可能である。また、技能レベルに応じたルールや場の設定の工夫が可能であり、作戦が成功する可能性を高めることができ、「集団的達成の喜び」を味わいやすい種目である。フラッグフットボールは、アメリカンフットボールから派生したゲームで、ボールを持って走ることができるため、同じゴール型のバスケットボールやサッカーよりも、ボール操作が容易であり、戦術的な学習課題に重点を置くことが可能である。また、技能レベルに応じたルールや場の設定の工夫が可能であり、作戦が成功する可能性を高めることができ、「集団的達成の喜び」を味わいやすい種目である。

(2) 児童の実態 (男子※名, 女子※名)

本学級の児童は、男女仲良く、元気な児童が多い。男子の多くは、休み時間サッカーで遊ぶ姿を多く目にする。一方、女子の中には読書など室内で過ごす割合が多く、ボール運動に苦手意識を持つ児童もおり、ボール運動の技術の習得には大きな開きがある。学級全体で一緒に過ごすクラス遊びの時間では、サッカーなどのボール運動を行うこともあるが、ゲームに積極的に参加する児童と、ゲームに参加できずその場にいるだけの児童とに二極化している。

(3) 指導観

ゲーム・ボール運動領域は、体育授業の中でも子どもたちに人気がある運動の1つであるが、「ボール操作の技能」や「ボールを持たない時の動き」に加え、「状況判断の難しさ」などの要素が含まれ、技能の差が生じやすく、技能の高い児童のみがボールを独占してしまい、コートの中で立っただけで、ゲームに参加できない児童も少なくない。

そこで、フラッグフットボールにおいて、運動の楽しさや喜びを実感できる学習過程や場の設定、指導方法の工夫を通して、「わかる」ことを「できる」ことに結び付けることを目指し、仲間と豊かに「かかわる」ことで、一人一人に運動の楽しさを味わわせたい。

4 単元の評価規準 (学習活動に即した評価基準)

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
学習活動における 具体の評価規準	①励まし合ったり、教え合ったりして、◎進んでコミュニケーションを取りながら楽しく運動しようとしている。 ②◎常にルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。 ③運動する場を整備したり、用具の安全を保持したりすることに◎積極的に気を配ろうとしている。	①ゲームの行い方を知るとともに、ゲームのルールを◎作ったり、工夫して選んでいる。 ②チームの特徴を知るとともに、◎自分たちのチームの特性を活かした作戦を立てている。 ③作戦を成功させるために必要な練習を、◎工夫して何度も行っている。	①ボールの届く範囲にいるフリーの人に◎正確に正しいフォームでボールを投げることができる。 ②ボールを保持していないときに、空いているスペースを見つけ(◎作戦に応じて空いているスペースを作り)、ボールを受けることができる。

◎は、十分に満足できる状況にある学びの姿

5 指導と評価の計画（7時間扱い） 本時は○印

段階	時間	学習のねらいと活動	評価計画		
			関	思	技
はじめ	1	<p>○ 運動の特性やねらい，計画，内容を理解する。 ○ 学習の方法や場を確認する。</p> <p>1 学習のねらいと進め方を知り，単元の見通しをもつ。 2 準備運動の方法を知る。 3 チームのきまり（役割分担やかかけ声など）を決める。 4 ルール，作戦盤や学習カードの使い方の確認をする。 5 パスキャッチや基本的な動き（フットワーク）の練習をする。 6 本時の学習を振り返る。 7 整理運動，後片付けをする。</p>	①		①
なか①	2	<p>○ チームの課題や仲間のよさを見つけながら，ゲームを行う。</p> <p>1 用具の準備，整列，あいさつ，健康観察を行う。 2 準備運動，スキルゲームを行う。</p>	①	①	
	3	<p>3 本時のねらいを確認する。 4 チームでの話し合いと練習を行う。</p>	③		①
	4	<p>5 ゲームを行う。 6 チームでの反省，整理運動，後片付けを行う。 7 本時の学習を振り返る。</p>	②	①	
なか②	5	<p>○ チームの仲間のよさや特徴を活かし，パスを使った作戦を立て，攻めや守りを工夫しながらゲームを行う。</p> <p>1 用具の準備，整列，あいさつ，健康観察を行う。 2 準備運動，スキルゲームを行う。</p>	①	②	
	⑥	<p>3 本時のねらいを確認する。 4 チームでの話し合いと練習を行う。 5 ゲームを行う。 6 チームでの反省，整理運動，後片付けを行う。 7 本時の学習を振り返る。</p>		③	①
まとめ	7	<p>○ フラッグフットボール大会を行う。 ○ 自分たちで考えた作戦を活かしながら，ゲームを楽しむ。</p> <p>1 用具の準備，整列，あいさつ，健康観察を行う。 2 準備運動，スキルゲームを行う。 3 本時のねらいを確認する。 4 トーナメントのゲームを行う。 5 本単元の学習を振り返る。 6 整理運動，片付けをする。</p>		②	②

6 本時の学習

(1) 本時のねらい

- 励まし合ったり、教え合ったりして、コミュニケーションを取りながら楽しく運動しようとしている。 (運動への関心・意欲・態度)
- 作戦を成功させるために必要な練習を、行っている。 (運動についての思考・判断)
- ボールの届く範囲にいるフリーの人にボールを投げることができる。 (運動の技能)

(2) 準備・資料

ボール、コーン、ビブス、作戦カード、作戦板、アドバイスカード、学習カード

(3) 展開 (6/7)

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点・方法
はじめ 10分	1 用具の準備、整列、あいさつ、健康観察を行う。 2 準備運動とスキルゲームをする。 ・フラッグ取り鬼ごっこ ・パス&キャッチランゲーム 3 本時のねらいと学習内容を確認する。 自分たちのチームにあった作戦を立てて、息のあったゲームをしよう。	・チームごとに集合させ、元気にあいさつできるようにする。 ・楽しい雰囲気の中で運動に取り組めるようにする。 ・スキルゲームで、前時と比較し『『できる』ようになったことがあるか』を確認する。 ・学習資料などを提示しながら本時のねらいを伝え、各自のめあてを確認する。	
なか 30分	4 作戦タイムⅠをする。(5分) ・作戦盤を使い、作戦の共通理解を図る。 5 ゲームⅠをする。(10分) ・攻撃優位のアウトナンバーでのゲームの攻撃・守備を行う。 6 作戦タイムⅡをする。(5分) ・作戦の成功度合いを確認する。 ・自分たちのチームに合った作戦となるよう修正する。 7 ゲームⅡをする。(10分) ・ゲームⅠで対戦していないチームとのゲーム、攻撃・守備を行う。	・前時の練習や試合での反省を活かすよう助言する。 ◇チームの作戦を全員が『わかる』ために、作戦盤で確認するよう声かけをする。 ・作戦をもとにゲームを行い、その反省を次のゲームに活かすよう助言する。 ・友達へのよい声かけなど積極的に『かかわる』ことができているチームを紹介し、賞賛する。 ◇パスをつなげやすくするため、近くにいる味方にパスを出すようにする。	<思・判③> 作戦を成功させるために必要な練習を、◎工夫して何度も行っている。 (学習カード・観察) <技①> ボールの届く範囲にいるフリーの人に◎正確に正しいフォームでボールを投げることができる。 (観察)
まとめ 5分	8 チームで反省、整理運動、後片付けを行う。 9 本時の学習を振り返る。 ・学習カードに記入をし、反省する。 ・本時の結果をもとに、次時の作戦を考える。 ・チームの良かった所を発表する。	・チームごとに整理運動をする。 ・協力して後片付けができるよう声をかける。 ・ゲームの中で作戦が成功したチームを紹介し、賞賛する。 ・チームの良かった所を発表できるよう支援し、賞賛する。	

◇は努力を要する状況にある児童への手立て